

## 誓いの言葉

本日、私たちのためにこのような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中ご臨席賜りました来賓の皆様、そしてこれまで私たちを支えてくださったご家族や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

私たちの代は節目の年に様々なことがありました。小学校に入学した2011年は、東日本大震災が発生した年でした。幼いながらも、日常が一瞬で変わる現実を目の当たりにし、多くの命や暮らしが失われたことを痛感しました。それと同時に、全国から寄せられる支援の輪や、人々が手を取り合う姿を見て、人との絆の大切さや助け合う心の尊さを学びました。その経験は、私たちの価値観や生き方に大きな影響を与えたのではないかと思います。

また、中学生の頃には台風による自然災害や地元のインフラ被害、中学校卒業の時には、新型コロナウイルスによる生活の激変など、試練が続きました。当たり前だった学校生活、友人との時間、そして家族との何気ない日々が、実はとても貴重なものであることを、こうした出来事の中で改めて感じることができました。

しかし、その一方で困難な状況を乗り越える中で、私たちは確実に成長してきたのだと思います。たとえば、試練の中で互いに助け合う力、逆境に耐える強さ、そして新しい環境に適応していく柔軟性など、私たちはこれらを身につけることができました。節目の年に困難をいくつも経験してきたからこそ、今日という新たな節目を迎えることの意味を深く感じています。

20歳を迎えた私たちは、社会の一員として新しい責任を負いながら、それぞれの道を進んでいくこととなります。まだまだ未熟ではありますが、これまで支えてくださった方々への感謝を胸に、挑戦を恐れず、自分たちの未来を切り開いていく覚悟です。そして、どのような困難が待ち受けていても、これまで培った経験を糧に、力強く前進していくことをここに誓います。

最後に、私たちがそれぞれの目標を胸に、この先も多くの節目を迎える中で成長し、社会や地域に貢献できる存在となることをお約束し、参加者代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和7年1月12日  
塩田公民館会場  
(塩田中学校区域)  
成人代表 中澤海里